社保シリーズ

象牙質レジンコーティングと知覚過敏処置

2

社保研究部

今回は象牙質レジンコーティングと知覚過敏処置について解説する．

症例解説

症例は，前歯の歯痛で来院し，歯根破折のため，抜歯．ブリッジの支台歯を生PZして，象牙質レジンコーティング（Rコート）をしている．

初診日に歯根破折のため，抜歯した際に使用した麻酔薬剤料は，2020年の診療報酬改定で，算定が可能となった．従来どおり，120点未満の処置の場合は浸麻料も算定できる（８／７）．

抜歯窩の経過観察後，ブリッジの支台歯を形成した際に象牙細管の封鎖を目的として，Rコートをしている（９／７）．Rコートは生PZを行った歯が対象で，形成から装着までの期間に１歯につき１回限り算定できる．形成直後に行うことが望ましく，露出象牙質や歯髄を保護し，冷水痛や咬合痛などの抑制，支台歯の保護や二次う蝕を防止できるとされている．医療機器の一般名称「歯科用シーリング・コーティング材」を用いる．

９月23日，$\overline{43}$に知覚過敏処置（Hys処）をしたが，Rコートを算定した場合，別部位であっても，装着までは算定ができない．ブリッジ装着後，Hys処の算定が可能になる（10／９）．Hys処とRコートが必要な場合，Rコートの算定のタイミングによっては，Hys処の算定ができないことがあるので注意が必要となる．

部　位	傷　病　名	診療開始日
$\underline{\lfloor 2}$	歯根破折	令和２年７月30日
$\underline{\lfloor 1\ 3}$	C_2単Pul	令和２年７月30日
$\underline{\lfloor ①②③}$	MT	令和２年７月30日
$\overline{4\ 3\rfloor}$	Hys	令和２年９月23日
〔年齢〕40歳　男性		
〔主訴〕上の前歯噛むと痛い		
〔所見〕左上２動揺，根尖腫脹有		

浸麻料は抜歯に含まれ算定できないが，麻酔薬剤料は算定できる．

月　日	部　位	療　法・処　置		点　数
７／30		初診	(261)	261
	$\underline{\lfloor 2}$	X－Ray（D）１F　電　歯根破折を確認	(58)	58
		浸麻　OA＋歯科用キシロカインCt1.8ml	(10)	10
		抜歯	(155)	155
		処方箋　一般名処方加算２	(68＋５)	73
		㊥サワシリン250mg　１日３回３日分		／
		㊦〔般〕ジクロフェナクNa錠25mg　１回２T　３回分		／
７／31		再診　明細	(54)	54
	$\underline{\lfloor 2}$	SP（H_2O_2）		／
		歯管　文（文書添付）	(80＋10)	90
		歯清	(70)	70

７月分　２日分　771点

生PZを算定する前のう蝕処置および間PCapは算定できる．

８／７		再診　明細	(54)	54
	$\underline{\lfloor 1\ 3}$	浸麻　OA＋歯科用キシロカインCt1.2ml	(30＋10)	40
		う蝕処置（軟化象牙質除去，暫間充填）	(18×２)	36
		間PCap（ダイカル）	(34×２)	68
		歯管　文（文書添付）	(100＋10)	110

８月分　１日分　308点

生PZから装着までの一連につき１歯１回算定できる．形成直後が望ましい．

Rコート算定した場合は，他部位であっても，形成から装着までの間はHys処は算定できない．

９／７		再診　明細	(54)	54
	$\underline{\lfloor 2}$	抜歯窩治癒のため印象		／
	$\underline{\lfloor ①②③}$	補診　$\underline{\lfloor 2}$ 歯肉状態良好	(90)	90
		$\underline{\lfloor 1\ 3}$ 12%金パラ前装MC		／
		$\underline{\lfloor 2}$ 12%金パラ前装ポンティック		／
	$\underline{\lfloor 1\ 3}$	生PZ	(796×２)	1,592
		連imp（寒天＋アルジネート）	(282)	282
		BT	(76)	76
		ブリッジ支台歯形成加算	(20×２)	40
		支台歯間の平行関係を確認		／
		Rコート（シールドフォース）	(46×２)	92
		色調（検査結果略）	(10)	10
	$\underline{\lfloor ①②③}$	リテイナー set　仮セ	(100＋４×２)	108
９／23		再診　明細	(54)	54
		歯管　文（文書添付）	(100+10)	110
		歯清	(70)	70
	$\underline{\lfloor ①②③}$	Br仮着	(40＋４×２)	48
	$\overline{4\ 3\rfloor}$	Hys処（シールドフォース塗布）歯頸部冷水痛		／
９／30		再診　明細	(54)	54
	$\underline{\lfloor ①②③}$	Br set	(150)	150
		$\underline{\lfloor 1\ 3}$ 12%金パラ前装MC	(2,009×２)	4,018
		$\underline{\lfloor 2}$ 12%金パラ前装ポンティック	(1,828)	1,828
		接着材料Ⅰ（スーパーボンド）	(17×２)	34
		補管	(330)	330

９月分　３日分　9,040点

Rコートを算定した場合，装着後に行ったHys処は算定可能．

10／９		再診　明細	(54)	54
		歯管　文　（文書添付）	(100＋10)	110
	$\overline{4\ 3\rfloor}$	Hys処（シールドフォース塗布）冷水痛改善せず		46

10月分　１日分　210点

９月１日から保険適用拡大 CAD／CAM前歯

８月19日の中医協総会で前歯部へのCAD／CAM冠の保険適用が承認された．９月１日から保険適用となる．詳細や注意点は以下の通り．

▶前歯CAD／CAM冠　1,776点
　CAD／CAM冠用材料（Ⅳ）
　*クラレノリタケデンタル㈱「カタナアベンシアN」（９／７現在）製品に付属している使用した材料の名称及びロット番号等を記載した文書（シール等）を保存する
▶装着料　45点
　　＋45点（内面処理加算１）
▶歯冠形成　生PZ　796点
　　失PZ　636点
▶色調（１枚につき）10点
▶TeC（１歯につき）34点
▶歯冠修復及び欠損補綴　その他欄に「歯CAD（Ⅳ）1,776×　」と記す

※前歯部のCAD／CAM冠は，金属アレルギー患者に限定した取り扱いではない．クラウン・ブリッジ維持管理料の算定対象となる．
※従来のCAD／CAM冠と同様に施設基準の届出が必要．